

聖フィリピン・デュシエーン の 祝日ミサ



聖心女子大学

ミサに参加される皆さまへ

キリスト教では昔から、信者たちが集まって、聖書を読み、共に祈る集会が行われてきました。時代や宗派によって異なった仕方がありますが、カトリック教会で行われる「ミサ」は、その最も古いものです。その原型は紀元2世紀頃にさかのぼり、それから2000年近く、そして現在でも、世界中のカトリック教会で同じ「ミサ」が行われています。

「ミサ」には、2つの重要な部分があります。前半の中心は、「ことばの典礼」と呼ばれ、聖書を通して語りかける神のことばに耳をかたむける部分です。日曜日のミサや祭日ミサでは、旧約聖書と新約聖書から合わせて3箇所、学生ミサのような週日ミサでは、2箇所が朗読されます。

後半の中心は、「感謝の典礼」と呼ばれ、十字架につけられる直前にイエス・キリストが弟子たちとともに過ごした「最後の晚餐」を記念する儀式が行われます。食事を共にするという事は、共に生きることの象徴です。「感謝の典礼」は、復活したキリストが今もいつもわたしたちと共におられ、生きておられることのしるしであり、また、キリストを通して、皆が一つの絆で結ばれていることを表しています。

「ミサ」は、キリスト信者にとっては特別な意味を持つものですが、信者でなくともすべての人に開かれたものです。神のことばは、すべての人に向けられています。そして、キリストの食卓には、誰もが招かれています。

本学は「聖心」(Sacred Heart)、つまり、イエス・キリストの「聖なる心」に学ぶことを建学の精神とし、そのもとに集うコミュニティです。その一員であるわたしたちが、このミサを通してひとつに結ばれ、聖心の愛を伝えていくことができるよう、お祈りしたいと思います。

ミサの進行について

「ミサ」の儀式をとりおこなうのは、司祭(「神父」と呼ばれるカトリックの聖職者です。「ミサ」は、「司祭」と集まった「会衆」との応答によって進められます。皆さまは、パンフレットで「会衆」と書かれている部分のことばを一緒にとなえてください。また、進行係が式の進行に合わせて、着席・起立や歌についてご案内いたしますのでそれにしたがってください。

なお、このパンフレットは今日の記念にお持ち帰りください。また、ミサのそれぞれの部分についての簡単な解説をつけておきましたので、参考にしてください。

目次

1.	開祭の儀	4
①	入祭の歌	4
②	入祭のあいさつ	4
③	回心への招き	4
④	栄光の賛歌	5
⑤	集会祈願	5
2.	ことばの典礼	6
①	第一朗読	6
②	答唱詩編	6
③	アレルヤ唱	7
④	福音朗読	7
⑤	司祭によるお話	8
⑥	共同祈願	8
3.	感謝の典礼	8
①	奉納	8
②	パンを供える祈り	8
③	奉納祈願	9
④	叙唱前句	9
⑤	叙唱	9
⑥	主の晩餐の記念	9
⑦	記念唱	10
⑧	栄唱	10
4.	交わりの儀	10
①	主の祈り	10
②	副文	11
③	平和のあいさつ	11
④	平和の賛歌	11
⑤	拝領前の信仰告白	11
⑥	聖体拝領	12
⑦	拝領祈願	12
5.	閉祭の儀	13
①	派遣の祝福	13
②	閉祭のあいさつ	13
③	閉祭の歌	14

1. 開祭の儀

司祭が入場し、はじめの挨拶を交わします。私たちは心の準備をするために、日ごろの行いをふりかえり、神のゆるしとあわれみを求めます。

〈会衆起立〉

〈司式司祭の入場〉

① 入祭の歌

「・・・」番

32

神に向かって

♩ = 69 くらい



答唱 か み - にむかってよ ろこびうたい かんしゃのうたをさ さげよう



1. 神の恵みによって 神をおそれる人々の前で
民のつどいで賛美を ささげ わたしは誓いを 果たす



1. 貧しい人は かに 恵まれ 神を求める人は 賛美を ささげ る

② 入祭のあいさつ

〈司祭・会衆ともに十字架のしるしをしながら〉

司祭：父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン。*

司祭：主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。

会衆：また、司祭とともに。

③ 回心への招き

司祭：皆さん、神聖な祭りを祝う前にわたしたちの犯した罪を認めましょう。

〈しばらく頭を下げて祈る〉

* 「アーメン」(Amen)というのは、「本当に」「そのとおり」という意味のヘブライ語から来ることばです。司祭の祈りのことばに、会衆が唱和する意味で用いられます。

司祭：打ち砕かれた心をいやすために遣わされた主よ、あわれみたまえ。

会衆：主よ、あわれみたまえ。

司祭：罪びとを招くために来られたキリスト、あわれみたまえ。

会衆：キリスト、あわれみたまえ。

司祭：父の右の座にあってわたしたちのためにとりなしてくださる主よ、あわれみたまえ。

会衆：主よ、あわれみたまえ。

司祭：全能の神がわたしたちをあわれみ、罪をゆるし、永遠のいのちに導いて下さいますように。

会衆：アーメン。

④ 栄光の賛歌

司祭：天のいと高きところには神に栄光、

会衆：地には善意の人に平和あれ。

われら主をほめ、主をたたえ、主を拝み、主をあがめ、

主の大いなる栄光のゆえに感謝したてまつる。

神なる主、天の王、全能の父なる神よ。

主なる御ひとり子、イエズス・キリストよ。

神なる主、神の小羊、父のみ子よ。

世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。

世の罪を除きたもう主よ、われらの願いを聞き入れたまえ。

父の右に座したもう主よ、われらをあわれみたまえ。

主のみ聖なり、主のみ王なり、主のみいと高し、イエズス・キリストよ。

聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。

アーメン。

⑤ 集会祈願

司祭：祈りましょう。

……。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン。

〈会衆着席〉

2. ことばの典礼

神のことばに耳をかたむけ、味わいます。第一朗読では、旧約聖書の「イザヤ書」から朗読されます。それに続く「答唱詩編」では、朗読された聖書のことばに対する人間の応答として歌います。

福音朗読は、イエス・キリストの生涯を描く「福音書」の一つである「ヨハネによる福音書」からのものです。そして、司祭のお話（説教）があります。

「説教」のあとでは、会衆の祈りとして「共同祈願」が捧げられます。

① 第一朗読

〔イザヤ書 52 章 7-10 節〕

いかに美しいことか

山々を歩き巡り、良い知らせを伝える者の足は。

彼は平和を告げ、恵みの良い知らせを伝え

救いを告げ

あなたの神は王となられた、と

シオンに向かって呼ばわる。

その声に、あなたの見張りは声をあげ

皆共に、喜び歌う。

彼らは^ま目の当たりに見る

主がシオンに帰られるのを。

歓声をあげ、共に喜び歌え、エルサレムの廃墟よ。

主はその民を慰め、エルサレムを贖われた。

主は聖なる^{みうで}御腕の力を

国々の民の目にあらわにされた。

地の果てまで、すべての人が

わたしたちの神の救いを仰ぐ。

② 答唱詩編

司祭：キリストに賛美。

会衆：キリストに賛美。

〈会衆着席〉

⑤ 司祭によるお話

⑥ 共同祈願

〈会衆起立〉

〈数名の代表者がその時々に応じた祈願の言葉を述べる〉

代表者：(祈願の言葉)

会衆：主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

代表者：(祈願の言葉)

会衆：主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

代表者：(祈願の言葉)

会衆：主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

〈会衆着席〉

3. 感謝の典礼

「最後の晩餐」を記念し、イエス・キリストの食卓を共に囲みます。イエス・キリストは、わけへだてなくどんな人でも受け入れ、共に食事の席に着きました。私たちも同じように、心を一つにし、共に生きる兄弟姉妹となるよう呼び集められているのです。

① 奉納

〈パンとぶどう酒が準備され、司祭に渡される〉

② パンを供える祈り

司祭：神よ、あなたは万物の造り主。ここに供えるパンは、あなたからいただいたもの。
大地の恵み、労働の実り、わたしたちのいのちの糧となるものです。

会衆：神よ、あなたは万物の造り主。

司祭：神よ、あなたは万物の造り主。ここに供えるぶどう酒は、あなたからいただいたもの。

大地の恵み、労働の実り、わたしたちのいのちの糧となるものです。

会衆：神よ、あなたは万物の造り主。

③ 奉納祈願

司祭：皆さん、このささげものを全能の神である父が受け入れてくださるよう祈りましょう。

〈会衆起立〉

司祭：父である神よ、主の食卓を囲むわたしたちを祝福してください。この恵みを受けて喜びに満たされ、互いに支え合い、愛をもって関わっていくことができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン。

④ 叙唱前句

司祭：主は皆さんとともに。

会衆：また司祭とともに。

司祭：心をこめて神をあおぎ、

会衆：賛美と感謝をささげましょう。

⑤ 叙唱

司祭：聖なる父よ、御子キリストによってあなたをたたえ、感謝の祈りをささげます。あなたは信じる民の回心を望み、この恵みの時をお定めになり、過ぎ行くこの世にあるわたしたちが心のおごりを捨て、永遠に変わることのないものを求めるように導かれます。あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに、わたしたちも賛美の歌を捧げます。

先唱：聖なるかな、

会衆：聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。主の栄光は天地に満つ。天のいと高きところに

ホザンナ。ほむべきかな、主の名によりて来たる者。天のいと高きところにホザンナ。

司祭：まことに尊くすべての聖性の源である父よ、いま聖霊によってこの供えものを尊いものにしてください。わたしたちのために主イエス・キリストの御からだと御血になりますように。

⑥ 主の晩餐の記念

司祭：主イエスはすすんで受難に向かう前に、パンを取り、感謝をささげ、割って弟子に与えて仰せになりました。皆、これを取って食べなさい。これはあなたがたのために渡されるわたしのからだである。

〈司祭がパン（キリストの御体）に深く礼をする動作に合わせ、会衆も礼をする〉

司祭：食事の終わりに同じように杯を取り、感謝をささげ、弟子に与えて仰せになりました。皆、これを受けて飲みなさい。これはわたしの血の杯、あなたがたと多くの人のために流されて、

罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血である。これをわたしの記念として行いなさい。

〈司祭がぶどう酒（キリストの御血）に深く礼をする動作に合わせ、会衆も礼をする〉

⑦ 記念唱

司祭：信仰の神秘。

会衆：主の死を思い、復活をたたえよう、主が来られるまで。

司祭：わたしたちはいま、主イエスの死と復活の記念を行い、ここであなたに奉仕できることを感謝し、いのちのパンと救いの杯をささげます。キリストの御からだと御血にともにあずかるわたしたちが、聖霊によって一つに結ばれますように。

世界に広がるあなたの教会を思い起こし、

わたしたちの教父 <現在の教皇名>

わたしたちの司教 <教区の司教名>

すべての教役者をはじめ全教会（全世界）を愛の完成に導いてください。

また、復活の希望を持って眠りについた私たちの兄弟姉妹と全ての死者を心に留め、あなたの光の中に受け入れてください。なお、わたしたちをあわれみ、神の母おとめマリアと聖ヨセフ、使徒と聖人とともに永遠のいのちにあずからせてください。御子イエス・キリストを通してあなたをほめたたえることができますように。

⑧ 栄唱

司祭：キリストによってキリストとともにキリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに。

会衆：すべてのほまれと栄光は、世々に至るまで。アーメン。

4. 交わりの儀

イエス・キリストの食卓に共にあずかった私たちは、心をつにして、イエス・キリストが教えてくださった「主の祈り」をとねえます。また、キリストが与えて下さった平和を分かち合って、「平和のあいさつ」を交わします。

「聖体拝領」では、洗礼を受けている人はご聖体(パン)をいただくことができます。

① 主の祈り

司祭：主の教えを守り、みことばに従い、つつしんで主の祈りを唱えましょう。

会衆：天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

② 副文

司祭：いつくしみ深い父よ、すべての悪から私たちを救い、現代に平和をお与えください。あなたのあわれみに支えられ、罪から解放されて、すべての困難に打ち勝つことができますように。わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。

会衆：国と力と栄光は、限りなくあなたのもの。

司祭：主イエス・キリスト あなたは使徒に仰せになりました。「わたしは平和をあなた方に残し、わたしの平和をあなた方に与える。」わたしたちの罪ではなく、教会（全世界）の信仰を顧み、おことばのとおり教会（と全世界）に平和と一致をお与えください。

会衆：アーメン。

③ 平和のあいさつ

司祭：主の平和がいつも皆さんとともに。

会衆：また司祭とともに。

司祭：互いに平和のあいさつをかわしましょう。

〈周囲の会衆同士、互いに「主の平和」と礼をし、挨拶し合う〉

④ 平和の賛歌

先唱：神の子羊、

会衆：世の罪を除き給う主よ、われらをあわれみたまえ。

先唱：神の子羊、

会衆：世の罪を除き給う主よ、われらをあわれみたまえ。

先唱：神の子羊、

会衆：世の罪を除き給う主よ、われらに平安をあたえたまえ。

⑤ 拝領前の信仰告白

司祭：神の子羊の食卓に招かれた者は幸い。

会衆：主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、あなたをおいて誰のところに行きまし

よう。

〈会衆着席〉

⑥ 聖体拝領

〈カトリック教会で洗礼を受けている人はご聖体を拝領する〉

⑦ 拝領祈願

司祭：祈りましょう。

・・・。わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン。

5. 閉祭の儀

終わりの挨拶を交わします。司祭は、会衆に祝福を与え、退場します。

① 派遣の祝福

〈会衆起立〉

司祭：主は皆さんとともに。

会衆：また司祭とともに。

司祭：全能の神、

〈司祭と会衆と共に十字架のしるしをしながら〉

父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にありますように。

会衆：アーメン。

② 閉祭のあいさつ

司祭：感謝の祭儀を終わります。行きましょう、主の平和のうちに。

会衆：神に感謝。

③ 閉祭の歌

「・・・」

船の旅

詩 三宅 幸子
曲 町田 治



- 元知よく
- | | | | |
|----------|-------|----|-------|
| 1. かのきに | かがやくあ | さひ | こどもたち |
| 2. かわおとは | いわやまを | よび | しろいゆき |
| 3. あおいうみ | せかいをつ | なぐ | ふねのたび |



- | | | | | |
|----------|----|--------|----|------|
| 1. いのりのい | えに | あつまって | さあ | まなびま |
| 2. はるかなみ | ねの | シンフォニー | さあ | かなでま |
| 3. いのりのい | えに | あつまって | さあ | うたいま |



- | | | | | | |
|--------|-------|---|---|-------|----|
| 1. しょう | キリストの | あ | い | いのちのい | ず |
| 2. しょう | みこころの | あ | い | せかいは | ひと |
| 3. しょう | かみさまの | う | た | うちゅうの | うた |



み } せい フィリピン フィリピンデュ シェ - ン
つ }
を }

<司式司祭退場>

<ミサ終了>

学期中の毎週(原則)木曜日12:20~13:00、聖堂にて学生ミサが行われています。
どなたでも自由に参加することができます。

また、聖書・キリスト教に関心のある方は、マグダレナ・ソフィアセンター カトリックルーム（1号館2階）においでください。相談を受け付けております。

聖心女子大学

リタジーサークル

聖歌隊

声劇同好会

マグダレナ・ソフィアセンター カトリックルーム

